

CEC,CEEシリーズ 施工手順書


◆安全に関する重要な内容です。




施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

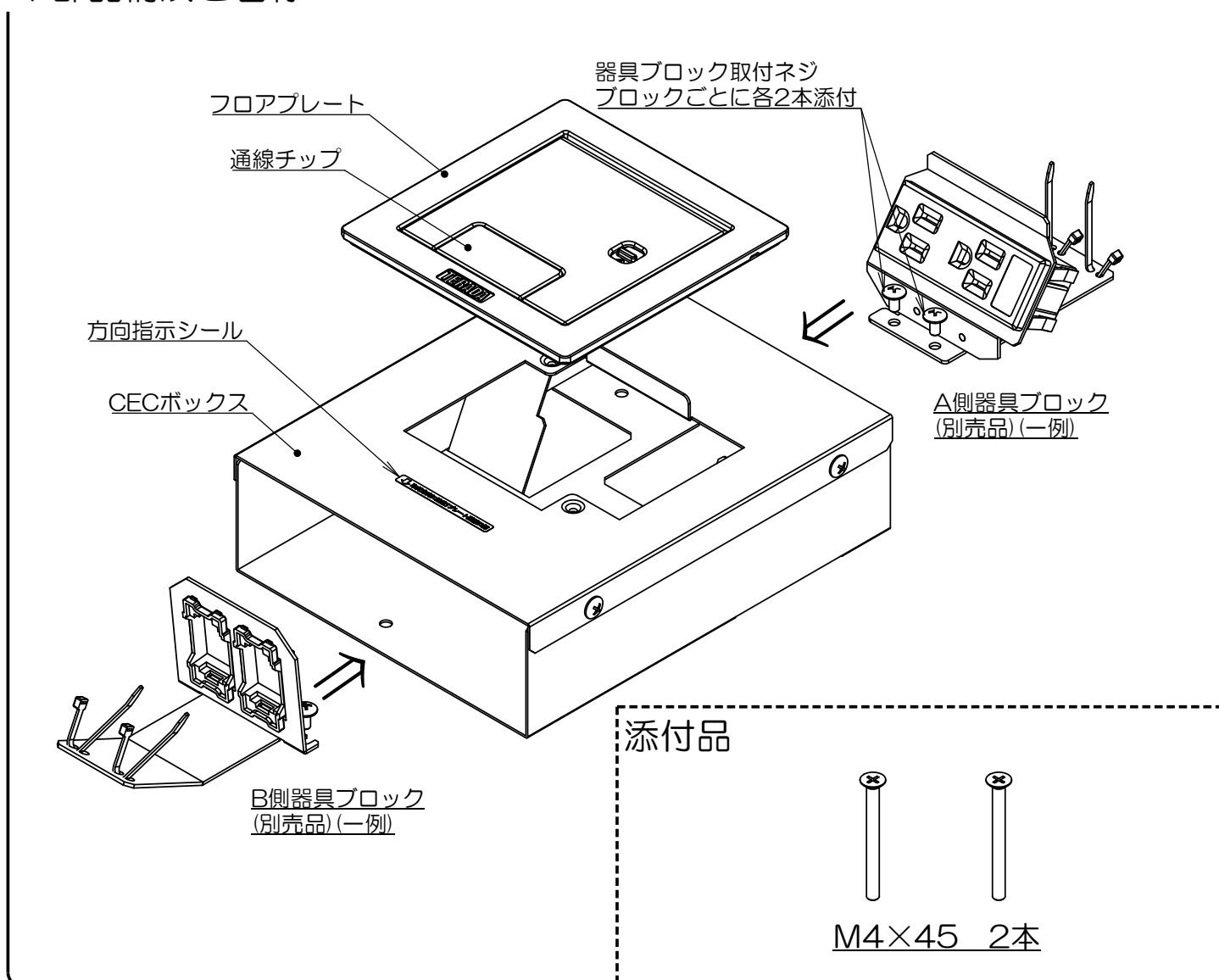
※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

 警告	
 禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等 強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
 必ず守る	◆結線は所定の方法で、確実にこなしてください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
	◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」 に従い電気工事士資格者がこなしてください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を 実施してください。

 注意	
 禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
	◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままに しないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
 必ず守る	◆通行の障害となる様な場所や机の下等、 製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。
	◆床暖房が施されている床に施工しないでください。 ⇒結露し漏電・感電の原因となります。
	◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆床に堅固に取り付けてください。 ⇒電線やケーブルが抜けたり、傷つく原因と なります。

◆部品構成と名称



施工方法

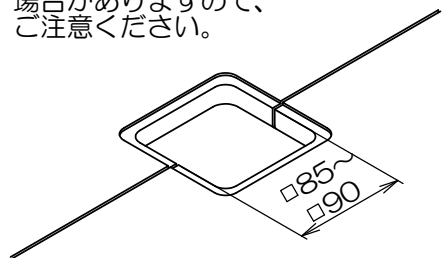
フロアパネルに施工する場合

1 フロアパネルの開口寸法の確認

床材の開口寸法を確認してください。
詳しくはカタログの対応表を
ご参照ください。

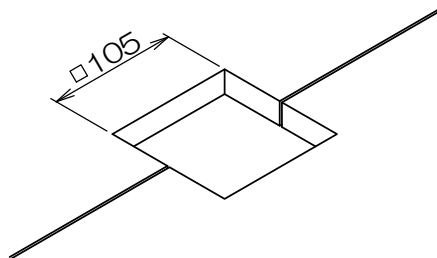
開口寸法：□85～□90
(一部パネルを除く)

床下空間：62mm以上(不陸を含まず)
※器具ブロックにより床下空間が異なる
場合がありますので、
ご注意ください。



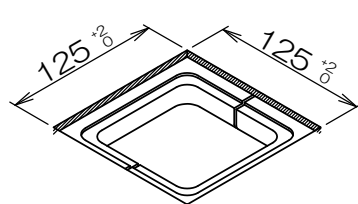
2 フロアパネルの新規開口寸法

新規で床材を開口する場合は、
□105で開口してください。
※取り付け床材に新規開口を
施した場合、強度低下の恐れが
ありますので、床材メーカーに
お問い合わせください。



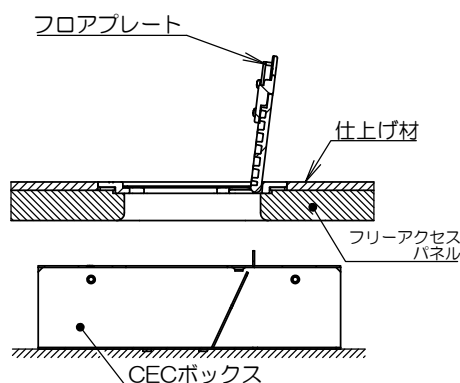
3 仕上げ材の開口寸法

仕上げ材を敷き、□125mmで
開口してください。



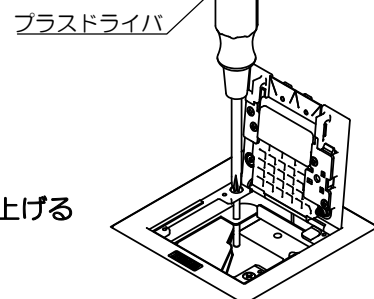
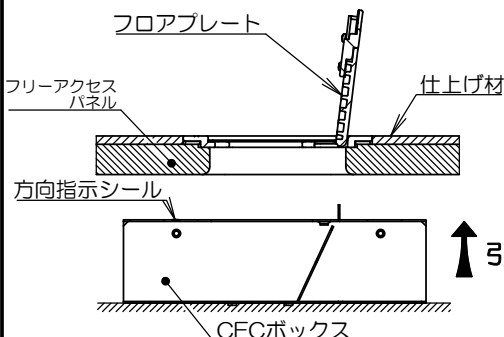
4 ボックスの設置

CECボックスをフリーアクセスパネル
の下に設置してください。



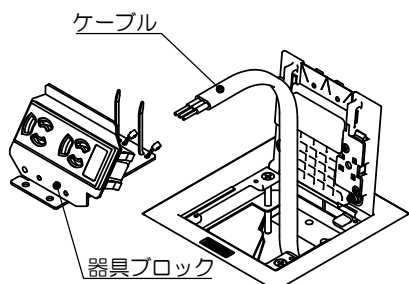
5 ボックスの固定

フリーアクセスパネルの下に設置したCECボックスを引き上げ、
方向指示シールの位置とフロアプレートの向きに注意し、
添付のサラネジ2本でフリーアクセスパネルを挟みます。
仕上げ材とフロアプレートの高さが合わない場合は、スペーサ(別売品)を
ご使用ください。
※固定後もサラネジが緩むことがありますので、定期的に増し締めを
行ってください。



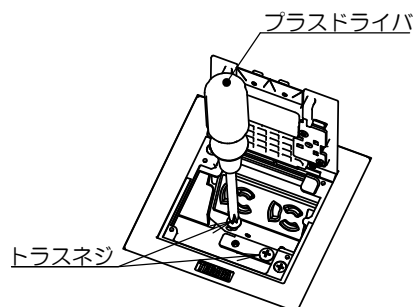
6 器具ブロックの結線

床下からケーブルを引き出してください。
引き出したケーブルを、器具ブロックに
接続してください。配線方法については
各コネクタの配線方法に従って行って
ください。電源付の機種はアースネジに
必ずアース線を接続してください。
ケーブルは張力が掛からないように、
結束バンドで固定して
ください。



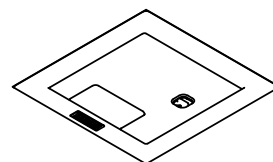
7 器具ブロックの固定

器具ブロックに添付のトラスネジ2本
でボックスに取り付けてください。



8 フタを閉める

フタを“パチン”と鳴るまで閉じて
ください。



施工方法

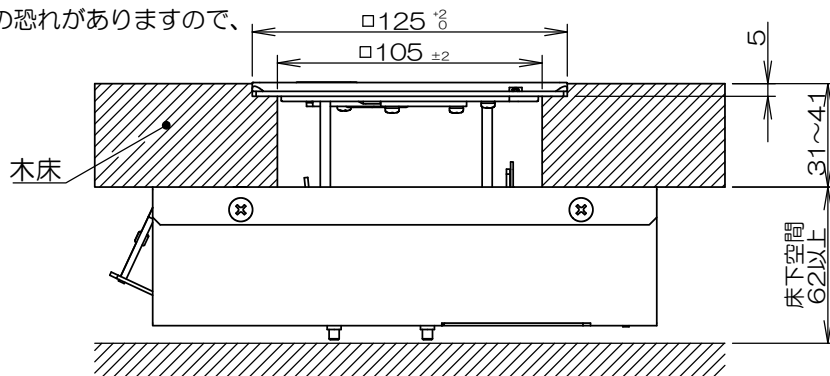
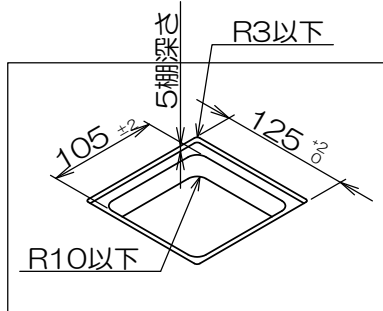
木床、フローリングに施工する場合

1 木床仕上げの場合の開口寸法

木床仕上げの場合は、 $\square 125\text{mm}$ で棚加工し、 $\square 105\text{mm}$ で開口してください。
床下空間は62mm以上(不陸は含まず)確保してください。

床厚さは最大41mmです。

※取り付け床材に新規開口を施した場合、強度低下の恐れがありますので、
床材メーカーにお問い合わせください。



2 フローリング仕上げの場合の開口寸法

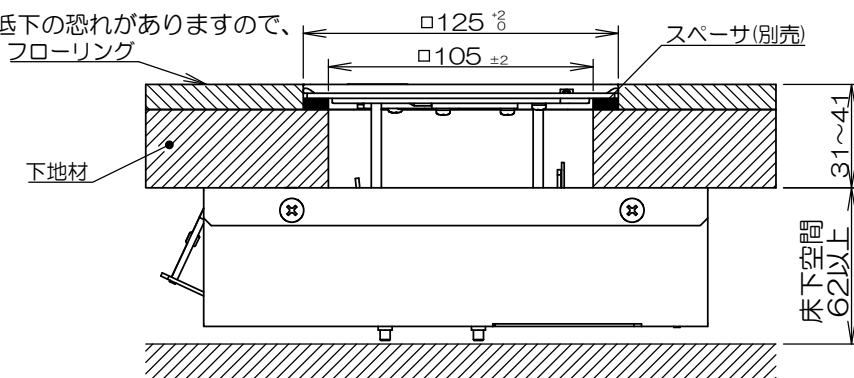
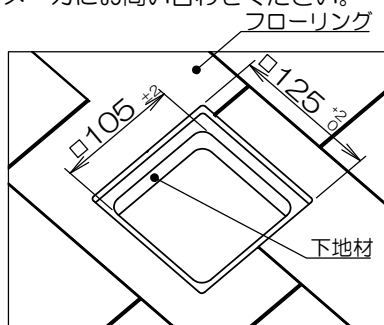
フローリング仕上げの場合は、棚加工の代わりに仕上げ材を $\square 125\text{mm}$ 、下地材を $\square 105\text{mm}$ で開口してください。

床仕上げ材の厚さにより、スペーサー(別売)による高さ調整が必要な場合があります。

床下空間は62mm以上(不陸は含まず)確保してください。

床厚さは最大41mmです。

※取り付け床材に新規開口を施した場合、強度低下の恐れがありますので、
床材メーカーにお問い合わせください。



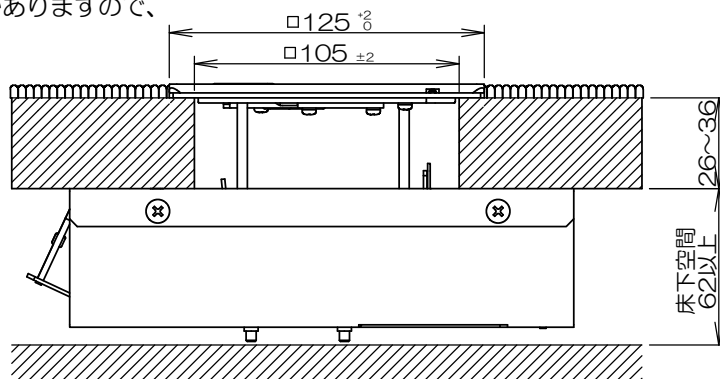
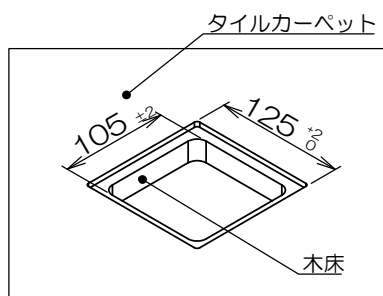
3 タイルカーペット仕上げの場合の開口寸法

タイルカーペット仕上げの場合は、木床を $\square 105\text{mm}$ 、タイルカーペットを $\square 125\text{mm}$ で開口してください。

床下空間は62mm以上(不陸は含まず)確保してください。

床厚さは最大36mmです。

※取り付け床材に新規開口を施した場合、強度低下の恐れがありますので、
床材メーカーにお問い合わせください。



■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361